

LCD Monitor

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



LMD-1420MD

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

8ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ



プラグをコン
セントから抜く

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
使用上のご注意（性能を保持するために）	8
液晶画面について	8
液晶画面の輝点・減点について	8
お手入れのしかた	8
ラックマウントについて	8
破棄するときは	8
ファンエラーについて	8
映像の遅れについて	8
特長	9
各部の名称と働き	10
前面パネル	10
入力信号と調整・設定項目	11
後面パネル	12
ラックへの取り付け	13
電源コードの接続	14
入力アダプターの取り付け	14
基本設定の選択	15
メニュー表示言語の切り換え	16
メニューの操作方法	17
メニューを使った調整	18
項目一覧	18
調整と設定	19
設定状態メニュー	19
ホワイトバランスメニュー	19
ユーザーコントロールメニュー	19
ユーザー設定メニュー	20
リモートメニュー	21
キーロックメニュー	21
故障かな？と思ったら	21
保証書とアフターサービス	22
保証書	22
アフターサービス	22
主な仕様	22
寸法図	25



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により
死亡や**大けが**につながる可能性があります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
指定の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
指定の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



感電

高圧に注意する

サービスマン以外の方は裏ぶたを開けないでください。内部には高圧部品が数多くあり、万一触ると危険です。



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



指示

安定した場所に設置する

製品が倒れたり、搭載した機器が落下してけがをすることがあります。十分な強度がある水平な場所に設置してください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。十分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年に1度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。



指示

転倒、移動防止の処置をする

大型の製品をラックに取り付け・取りはずしするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。

安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。

また、設置・取付け場所の強度を充分にお確かめください。



指示

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

入力アダプターを取り付ける際には電源を切って電源プラグを抜く

入力アダプターを取り付ける際にはモニターの電源を切り、電源プラグを抜いてください。モニターの電源を入れたまま入力アダプターを取り付けると感電の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけガの原因となることがあります。

十分注意して接続・配置してください。



注意

密閉環境に設置する際は注意する

本機をラックやモニター棚に収納した際、上下および周辺の機器によりモニター周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。

本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように上下および周辺機器との隙間を充分に取り、通気孔の確保や通気ファンの設置等の配慮をしてください。

本機に使われている記号について

記号	使われている場所	意味
	前面	主電源スイッチ
	後面	等電位端子
	後面	機能アース
	前面	キーロック 各種設定項目の変更が効きません。

使用上のご注意（性能を保持するために）

液晶画面について

液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。

液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。

寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。

固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。

使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニターのお手入れについて

医療用液晶モニターの前面保護板は消毒を前提とした素材が使用されていますが、保護板表面には、光の反射を防止するため、特殊な表面処理を施してあります。保護板表面／本体表面の汚れをベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどで拭くと性能を損なったり、表面の仕上げを傷めたりすることがありますので、以下のことをお守りください。

- ・清掃は 50～70v/v% 濃度のイソプロピルアルコールまたは 76.9～81.4v/v% 濃度のエタノールで保護板表面／本体表面を清拭法で清掃してください。

なお、保護板表面を拭くときは、軽くなでる程度にしてください。（拭き取り力の目安は 1N 以下です。）

- ・汚れがひどいときは、クリーニングクロスなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭きとった後、上記薬液を用いて清拭法で清掃してください。ベンジンやシンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは保護板表面／本体表面を傷めますので、清掃や消毒には絶対に使用しないでください。
- ・布にゴミが付着したまま強く拭かないでください。保護板表面／本体表面に傷が付くことがあります。
- ・保護板表面／本体表面にゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、性能維持のため上下に 1U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

破棄するときは

- ・一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- ・本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ファンエラーについて

本機には冷却用ファンが内蔵されています。「ファンエラー」という警告が出た場合は、電源を切りお買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

映像の遅れについて

本機は、信号をアナログからデジタルに変換し LCD パネルに表示する処理過程で 2 フレーム程度の遅れを伴います。また、LCD パネルは固有の応答速度があり、すばやく動く被写体が、尾を引くように見えることがあります。そのため、内視鏡で撮影した画像が、CRT モニターと比べると、多少のブレと反応の遅れを伴って見えます。内視鏡手術など、動画応答が重視される用途には適していませんのでご注意ください。

特長

LMD-1420MD は医療用安全規格を取得した 14 型 LCD モニターです。

内視鏡診断の際や、サブモニターとして使用するのに適しています。

アメリカ、カナダ、ヨーロッパの医療用の安全規格を取得

アメリカ UL60601-1、カナダ CSA C22.2 No.601.1、ヨーロッパ EN 60601-1 の安全規格を取得したモニターです。画面保護パネルなど、医療分野での使用を考慮した設計です。

高性能 LCD パネル

高輝度、高コントラスト、広視野角 LCD パネルの採用により、様々な照明環境で鮮明に映像を再現できます。

ラックマウント機能

LMD-1420MD は別売のマウンティングブラケット MB-526 を使って EIA19 インチラックマウントに標準で搭載できます。

チルト機能付きモニタースタンド

チルト機能の付いたモニタースタンドが標準装備されていますので、そのままデスクトップに置いて使用できます。19 インチラックにマウントする場合は、スタンドを取り外して使用します。

タリーランプ

緑色 LED のタリーランプを装備しています。

外部リモートからランプを制御して、モニタリング状態を把握できます。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に対応しています。

ブルーオンリーモード

ブルーオンリーモードにすると、R/G/B の画素が 3 個とも青信号で動作し、これが白黒画像として表示されます。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、VTR ノイズの監視に便利です。

アナログ RGB/ コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログ RGB、コンポーネント信号を入力できます。

Y/C 入力端子

ビデオ機器の Y/C 信号を入力できます。

SDI オプション入力

別売の SDI 入力アダプター BKM-320D を取り付けることにより、SDI 信号を入力することができます。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。EXT SYNC ボタンを押すと、外部同期で動作します。

自動終端解放（マークの付いた端子のみ）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部で 75Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

色温度／ガンマ切り換え機能

「高」、「低」、「低 2」の 3 つの色温度とあらかじめ設定された 5 つのガンマを用途やお好みに応じて選択することができます。色温度は好みに応じて設定することもできます。

アスペクト切り換え機能

入力ビデオ信号に応じて 4:3 と 16:9 の画角を切り換えることができます。

スキャン切り換え機能

－ 3% アンダースキャン、5% オーバースキャンの 2 種類の画面サイズが選択できます。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

多言語メニュー表示

メニュー画面より、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語の 7 か国語から選んで画面を表示することが可能です。

外部リモート機能

接続した外部機器からの操作で、選択したい入力やアスペクト等を直接選ぶことができます。

映像ディレイ最小モード搭載

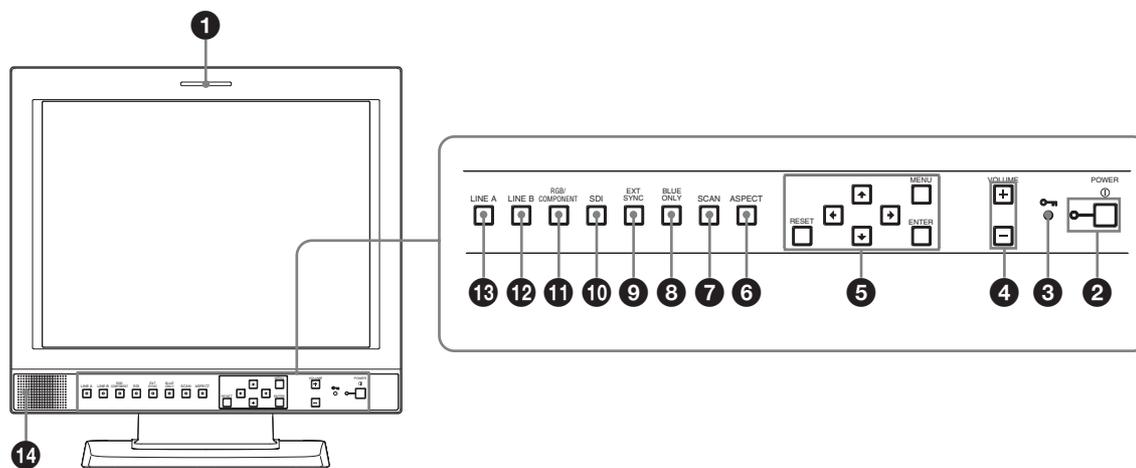
信号処理による映像の遅れを短くするため映像ディレイ最小モードを装備しています。

2 種類のアース端子搭載

機器間の電位を等しくするため、2 種類のアース端子を装備しています。

各部の名称と働き

前面パネル



① タリーランプ

本機が、後面の PARALLEL REMOTE 端子から制御されているとき緑色のランプが点灯します。

② POWER (電源) スイッチとインジケータ

スイッチを押すと電源が入り、インジケータが点灯します。もう1度押すと、電源が切れます。

③ キーロック (キーロック) インジケータ

キーロックが働いているときに点灯します。
キーロックについては「キーロックメニュー」(21 ページ)をご覧ください。

④ VOLUME (音量) 調整ボタン

+を押すと音量が大きくなり、-を押すと小さくなります。

⑤ メニュー操作ボタン

メニュー画面の表示や設定をします。

↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

MENU (メニュー) ボタン

メニューを表示したり非表示にしたりするときに使います。

もう1度押すとメニューは消えます。

RESET (リセット) ボタン

調整した項目の調整値を調整前の状態に戻すときに押します。

メニュー画面の項目を調整中 (画面に表示中) に働きます。

ENTER (決定) ボタン

メニューで内容を決定するときに使います。

⑥ ASPECT (アスペクト) 切り換えボタン

画面のアスペクト比 (縦横比) について、4:3 または 16:9 を選びます。

⑦ SCAN (スキャン) 切り換えボタン

画像のスキャンサイズを変えることができます。
このボタンを押すとノーマル (5% オーバースキャン)、アンダー (-3% アンダースキャン)、メニューの「スキャン」(20 ページ) で設定したズーム表示になります。

⑧ BLUE ONLY (ブルーオンリー) ボタン

このボタンを押すと、赤と緑の信号がカットされ、青信号のみが白黒画像として表示されます。色の濃さ (クロマ) や色相 (フェーズ) の調整、VTR ノイズの監視が容易に行えます。

⑨ EXT SYNC (外部同期) ボタン

EXT SYNC IN 端子から入力された外部同期信号で同期をとるときはこのボタンを押します。

EXT SYNC ボタンはコンポーネント / RGB 入力時のみ動作します。

⑩ SDI ボタン

OPTION IN 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑪ RGB/COMPONENT ボタン

RGB/COMPONENT の IN 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑫ LINE B ボタン

LINE B の IN 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑬ LINE A ボタン

LINE A の IN 端子からの信号をモニターするときに押します。

⑭ スピーカー

前面の入力切り換えボタンで選んだ入力の音が出ます。

入力信号と調整・設定項目

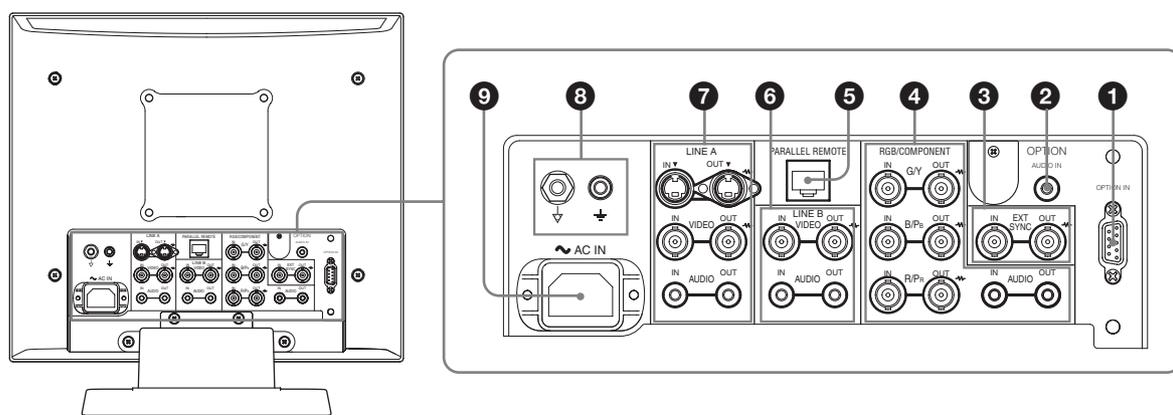
項目	入 力 信 号				
	ビデオ、Y/C	白黒信号	コンポーネント	RGB	SDI DI
コントラスト	○	○	○	○	○
ブライト	○	○	○	○	○
クロマ	○	×	○	×	○
フェーズ	○ (NTSC)	×	×	×	×
アパーチャ	○	○	○	×	○
色温度	○	○	○	○	○
コンポーネントレベル*	×	×	○	×	×
NTSC セットアップ	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×
ガンマ	○	○	○	○	○
SCAN	○	○	○	○	○
ASPECT	○	○	○	○	○
BLUE ONLY	○	×	○	○	○

* コンポーネント信号（480/60I）入力の際のみ切り換えできます。

○：調整・設定できる項目

×：調整・設定できない項目

後面パネル



① OPTION IN (インプットアダプター入力) 端子 (D-sub 9ピン、)

別売のSDI入力アダプター BKM-320D を取り付けるとSDI信号を入力できます。

信号をモニターする場合には、前面のSDIボタンを押します。

ご注意

BKM-320D 以外の機器を取り付けしないでください。取り付けると故障の原因になります。

② OPTION AUDIO IN (オプションオーディオ入力) 端子

OPTION IN 端子に BKM-320D が装着されている場合、その音声入力に使用する入力端子です。

音声信号をモニターする場合には、前面のSDIボタンを押します。

③ EXT SYNC IN/OUT (外部同期入 / 出力) 端子 (BNC型)

外部同期信号を使う場合は前面のEXT SYNCボタンを押します。

IN 端子

本機を外部同期で動作させるときに外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。

ご注意

本機ヘジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC (タイムベースコレクター) の使用をお勧めします。

OUT 端子

IN 端子に接続した同期信号のループスルー出力端子です。本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。

この端子にケーブルを接続すると、入力の75Ω終端が自動的に解放され、IN 端子に入力された信号が、この端子から出力されます。

④ RGB/COMPONENT 端子

アナログRGBまたはコンポーネント (Y、P_B、P_R) の入出力端子、およびそれぞれのループスルー出力端子です。前面の操作パネルのRGB/COMPONENTボタンを押してモニターします。

G/Y、B/P_B、R/P_R IN/OUT (BNC型)

アナログRGBおよびコンポーネント (Y、P_B、P_R) の入出力端子です。入力時は、通常G/Y信号に含まれている同期信号で動作します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

映像信号としてアナログRGBまたはコンポーネントを入力する場合に、音声信号の入力端子として使用します。VTRなど、外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑤ PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラーコネクター)

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割付について詳しくは、23ページをご覧ください。

⑥ LINE B 端子

コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。
前面の LINE B ボタンを押してモニターします。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑦ LINE A 端子

Y/C 分離入力、コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。
前面の LINE A ボタンを押してモニターします。
Y/C 入力と VIDEO 入力を同時に接続した場合、Y/C 入力が優先となります。

Y/C IN/OUT (4 ピンミニ DIN)

Y/C 分離の入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど外部機器の Y/C 分離出力および入力端子と接続します。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑧ ⚡/⏏ (等電位/機能アース) 端子

⚡ (等電位) 端子

等電位プラグを接続します。

⏏ (機能アース) 端子

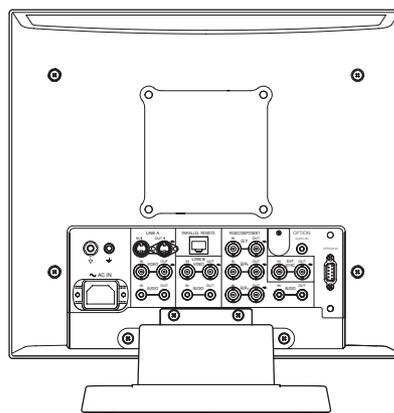
アース線を接続します。

⑨ AC IN ソケット

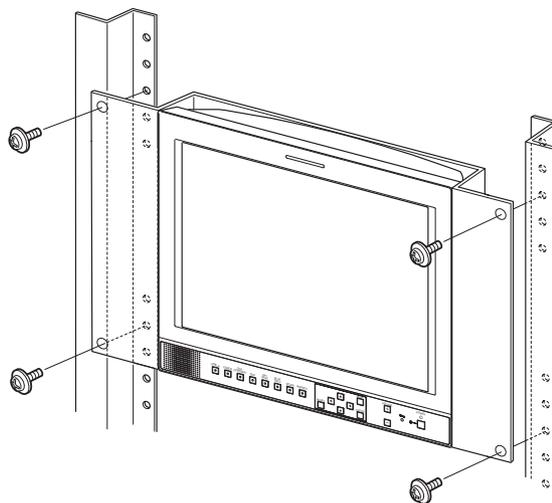
付属の電源コードをつなぎます。

ラックへの取り付け

1 ネジ (4 箇所) をはずして、スタンドを取りはずす。



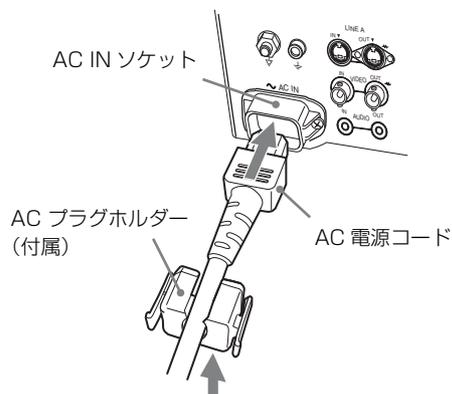
2 マウンティングブラケットを取り付けてから、ラックに取り付ける。



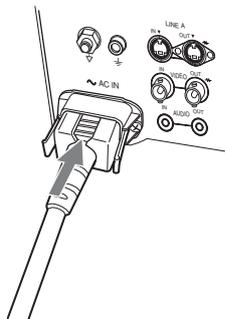
電源コードの接続

次のように電源コードを接続してください。

- 1 AC電源コードを後面のAC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。



- 2 固定レバーがロックするまで、AC プラグホルダーをはめこむ。

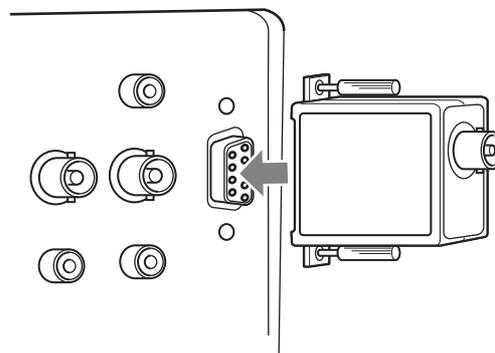


電源コードをはずすには

AC プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

入力アダプターの取り付け

入力アダプターを取り付ける前に必ず電源ケーブルを抜いてください。



ご注意

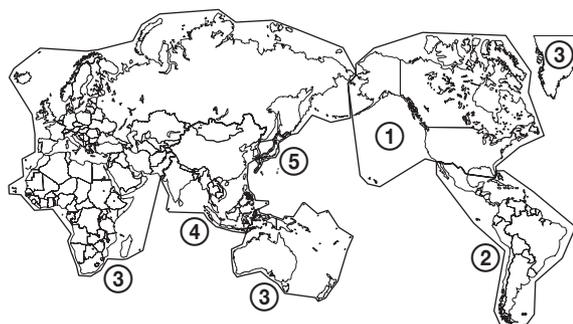
BKM-320D 以外の機器を取り付けしないでください。取り付けると故障の原因になります。

基本設定の選択

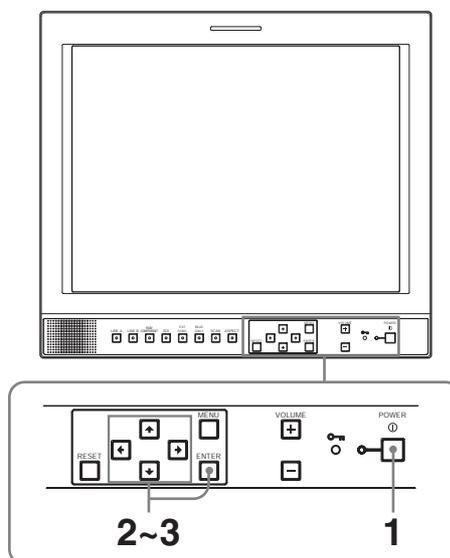
はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。

地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

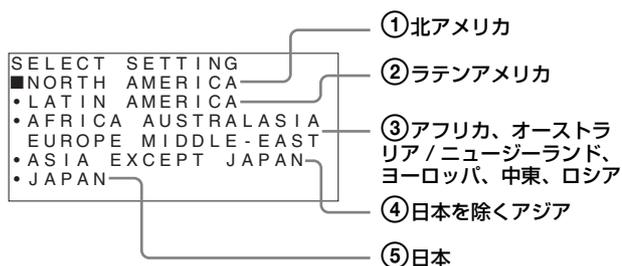
地域別基本設定値



	色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ
① NORTH AMERICA	Low	BETA7.5	7.5
② LATIN AMERICA PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	Low	SMPTE
	PARAGUAY	Low	SMPTE
	URUGUAY	Low	SMPTE
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	Low	BETA7.5
③ AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST	Low	SMPTE	0
④ ASIA EXCEPT JAPAN	NTSC AREA	Low	BETA7.5
	PAL AREA	Low	SMPTE
⑤ JAPAN	High	SMPTE	0

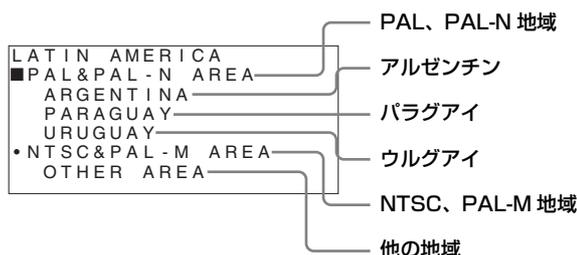


- 1 POWER スイッチを押す。
本機の電源が入り、SELECT SETTING 画面が表示されます。



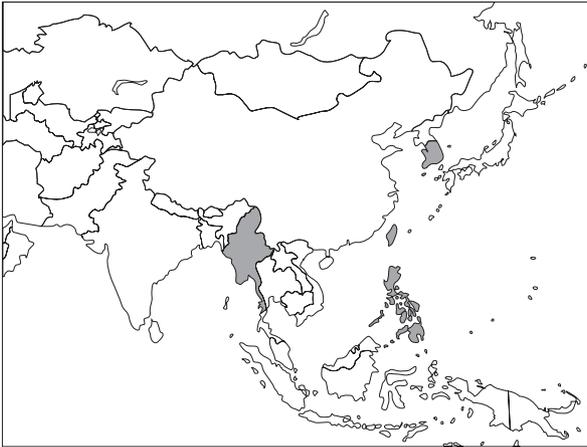
- 2 ↑ または ↓ ボタンを押して、本機をお使いになる地域を選び、→ または ENTER ボタンを押す。
LATIN AMERICA (ラテンアメリカ)、ASIA EXCEPT JAPAN (日本以外のアジア) が選ばれたときは次の画面が表示されます。

② LATIN AMERICA が選ばれたとき：



④ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：

下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。



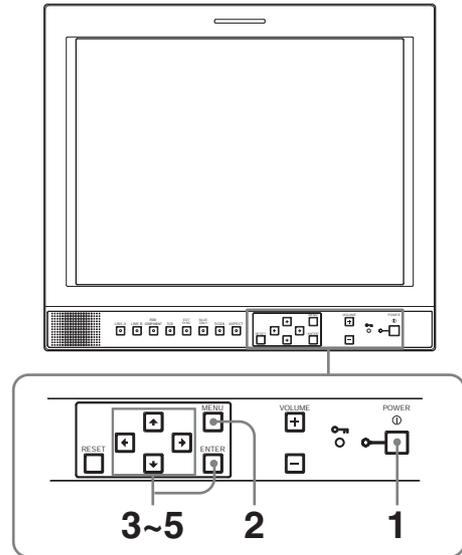
- 3** ↑ または ↓ ボタンを押してさらに地域を限定し、→ または ENTER ボタンを押す。
SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

ご注意

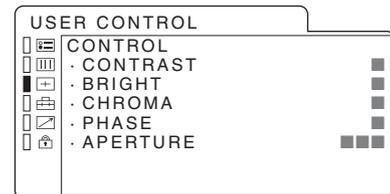
地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。
色温度 (19 ページ)
コンポーネントレベル (20 ページ)
NTSC セットアップ (20 ページ)
設定値については「地域別基本設定値」(15 ページ) をご覧ください。

メニュー表示言語の切り換え

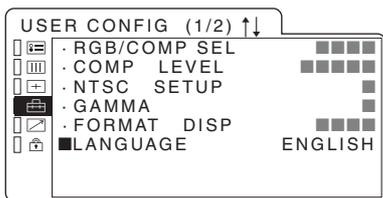
メニュー画面やメッセージの表示言語を7言語 (ENGLISH、FRANÇAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、ITALIANO、日本語、中文)の中から選ぶことができます。
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。



- 1** POWER スイッチを押して、電源を入れる。
- 2** MENU ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 3 ↑ボタンまたは↓ボタンを押してUSER CONFIG 1/2 (ユーザー設定 1/2) メニューを選び、→またはENTER ボタンを押す。
選んだメニューの設定項目 (アイコン) が黄色で表示されます。



- 4 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、→またはENTER ボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。

- 5 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTER ボタンを押す。
画面表示が選んだ言語に切り換わります。



メニュー画面を消すには

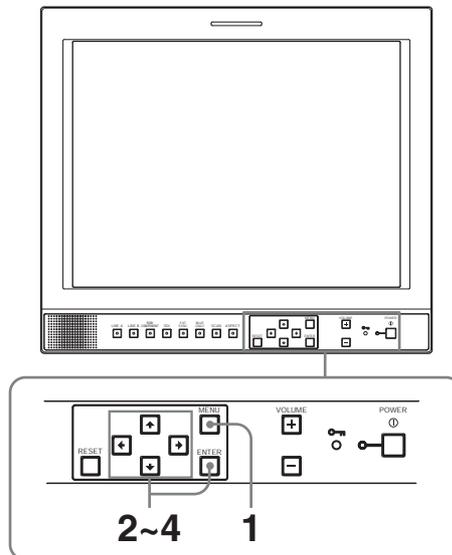
MENU ボタンを押す。
約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

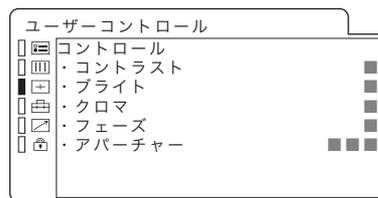
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

- ◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」(16 ページ) をご覧ください。

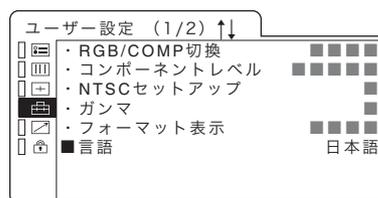
メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。



- 1 MENU ボタンを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 2 ↑ボタンまたは↓ボタンを押してメニューを選び、→またはENTER ボタンを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



- 3 ↑ ボタンまたは ↓ ボタンを押して設定項目を選び、
→ または ENTER ボタンを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

ご注意

項目が複数メニューページにおよぶ場合、↑ ボタン
または ↓ ボタンを押して必要なメニューページに入
ります。

- 4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑ ボタンを押す。

数値を小さくするときは、↓ ボタンを押す。

ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻り
ます。

設定を選ぶ場合：

↑ ボタンまたは ↓ ボタンを押して設定を選び、
ENTER ボタンを押す。

ご注意

- ・ 設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状
態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが
可能になります。
 - ・ キーロックがオンに設定されている場合、すべて
設定項目が青色表示になります。設定変更が必要
な場合は、キーロックをオフに設定しなおしてか
ら行ってください。
- ◆キーロックについて詳しくは、21 ページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENU ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整
前の値に戻ります。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になってい
ます。

設定状態（表示のみ）

信号フォーマット
色温度
ガンマ
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
RGB/COMP 切換
ディスプレイモード
ディスプレイ
オプション

ホワイトバランス

色温度
マニュアル調整

ユーザーコントロール

コントロール

ユーザー設定

RGB/COMP 切換
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ガンマ
フォーマット表示
言語
スキャン
映像ディレイ最小

リモート

1 ピン
2 ピン
3 ピン
4 ピン
6 ピン
7 ピン
8 ピン

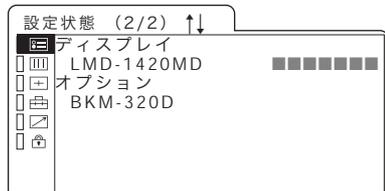
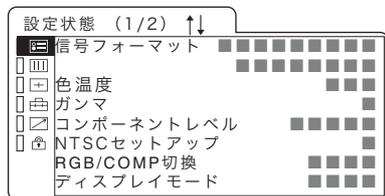
キーロック

キーロック

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。



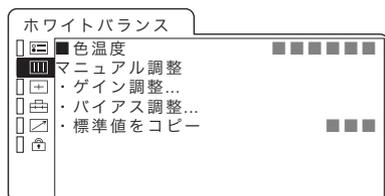
- ・ 信号フォーマット
- ・ 色温度
- ・ ガンマ
- ・ コンポーネントレベル
- ・ NTSC セットアップ
- ・ RGB/COMP 切替
- ・ ディスプレイモード
- ・ ディスプレイ
- ・ オプション

ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。

ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

推奨品：コニカミノルタ製カラーアナライザー CA-210



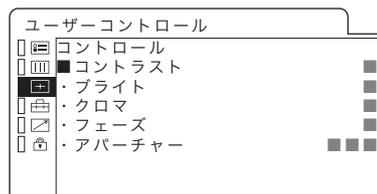
サブメニュー	設定
色温度	色温度を「高」、「低」、「低2」、「ユーザー設定」から設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ 高 (D93 相当)・ 低 (D65 相当)・ 低2 (D56 相当)・ ユーザー設定

サブメニュー	設定
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が青色から白色にかわり、調整できるようになります。 <ul style="list-style-type: none">・ ゲイン調整...：カラーバランス（ゲイン）を調整します。・ バイアス調整...：カラーバランス（バイアス）を調整します。・ 標準値をコピー：「高」、「低」または「低2」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目は青色で表示されず。

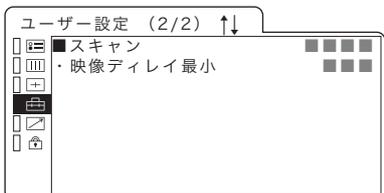
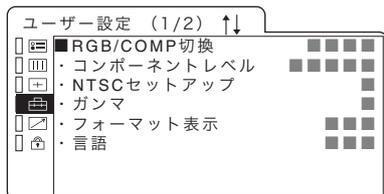


サブメニュー	設定
コントロール	画像を調整します。 <ul style="list-style-type: none">・ コントラスト：コントラストを調整します。・ ブライト：明るさを調整します。・ クロマ：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。・ フェーズ：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。・ アパーチャー：シャープネスを強調します。設定値が大きくなるとくっきりします。 入力信号と調整・設定項目については、11ページをご覧ください。

ユーザー設定メニュー

言語の選択などを設定します。

入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。



サブメニュー	設定
RGB/COMP 切換	RGB/COMPONENT の IN 端子からの信号をモニターするときに、入力する信号に応じて「RGB」または「コンポーネント」を選択します。
コンポーネントレベル	以下の3種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SMPTE : 100/0/100/0 のコンポーネント信号のとき ・ BETA 0 : 100/0/75/0 のコンポーネント信号のとき ・ BETA 7.5 : 100/7.5/75/7.5 のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本は0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものがあります。
ガンマ	画像に合わせて最適な状態を選びます。5段階の中から選ぶことができます。設定値が3のとき、CRT とほぼ同じガンマ (2.2) となります。
フォーマット表示	フォーマットが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オン : 常に表示されます。 ・ オフ : 表示されません。 ・ オート : 信号入力開始後約 10 秒間表示されます。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ENGLISH : 英語 ・ DEUTSCH : ドイツ語 ・ FRANÇAIS : フランス語 ・ ITALIANO : イタリア語 ・ ESPAÑOL : スペイン語 ・ 日本語 : 日本語 ・ 中文 : 中国語

サブメニュー	設定
スキャン	16 : 9 画面中の 4 : 3 部分を拡大するズームができます。 モードは「オフ」と「ズーム」から選択できます。
映像ディレイ最小 (映像遅延最小)	信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オフ : 画質優先のモードです。処理時間は「オン」に設定したときより長くなります。 ・ オン : 処理時間が短くなります。ラインフリッカー、尾引きが目立つことがあります。

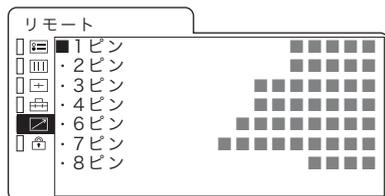
スキャンモードイメージ

		入力信号	
出力状態	ノーマル スキャン (5% オーバー スキャン)		
	アンダー スキャン		
	ズーム	-	

リモートメニュー

PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。

1～4、6～8ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。



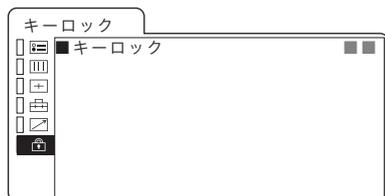
リモート

- ・ --- (「---」は機能の割付なし。)
- ・ LINE A
- ・ LINE B
- ・ RGB/COMP
- ・ 16:9
- ・ 4:3
- ・ アンダー
- ・ ノーマル
- ・ ズーム
- ・ タリ-
- ・ 外部同期
- ・ ブルーオンリー
- ・ SDI

ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。
詳しくは23ページをご覧ください。

キーロックメニュー



各種設定項目の変更が効かないように、キーロックを掛けることができます。

オフあるいはオンを選択します。

「オン」に設定した場合、他のメニューの設定項目はすべて青色表示となり、変更できなくなります。

故障かな?と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- ・ **画面が緑色や紫色になる** → RGB/COMP ボタンを押し、メニュー内のユーザー設定メニューの「RGB/COMP 切換」で正しい入力を選んでください。
- ・ **操作ボタンを押しても操作できない** → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

LCD パネル	a-Si TFT アクティブマトリックス
画面サイズ	14 型 283 × 212 × 354 mm (幅×高さ×対角)
解像度	640 × 480 ドット (VGA)
視野角	85° /85° /85° /85° (typical)
スキャン	アンダー - 3% ノーマル 5%
アスペクト比	4 : 3
色再現性	1620 万色

入出力

入力

LINE A 入力

Y/C 入力	4 ピンミニ DIN (1)
VIDEO 入力	BNC 型 (1)、1 V _{p-p} ± 3 dB、負同期
AUDIO 入力	ピンジャック (1)、- 5 dBu 47 kΩ 以上

LINE B 入力

VIDEO 入力	BNC 型 (1)、1 V _{p-p} ± 3 dB、負同期
AUDIO 入力	ピンジャック (1)、- 5 dBu 47 kΩ 以上

RGB/COMPONENT 入力

	BNC 型 (3)
RGB 入力	0.7 V _{p-p} ± 3 dB、(Sync On Green 0.3 V _{p-p} 負同期)
コンポーネント入力	0.7 V _{p-p} ± 3 dB、(75% クロミナンス標準カラーバー信号時)
AUDIO 入力	ピンジャック (1)、- 5 dBu 47 kΩ 以上

OPTION AUDIO 入力

	ピンジャック (2)、- 5 dBu 47 kΩ 以上
外部同期入力	BNC 型 (1) 0.3 ~ 4 V _{p-p} 負極性 2 値
リモート入力	パラレルリモート モジュラーコネクター 8 ピン (1)

出力

LINE A 出力

Y/C 出力 4ピンミニ DIN (1)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き

VIDEO 出力 BNC 型 (1)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1)、ループスルー

LINE B 出力

VIDEO 出力 BNC 型 (1)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1)、ループスルー

RGB/COMPONENT 出力

RGB / コンポーネント出力

BNC 型 (3)、ループスルー、75Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1)、ループスルー

外部同期出力 BNC 型 (1) ループスルー、75Ω 自動終端機能付き

内蔵スピーカー出力

0.5 W (モノラル)

その他

電源 AC100 - 240 V、50/60 Hz

消費電力 最大約 51 W

1.2 A - 0.6 A

最大外形寸法 (幅/高さ/奥行き)

約 343 × 354 × 264 mm (最大突起部含まず)

質量 約 6.8 kg

動作条件

温度 0 ~ 40 °C

推奨使用温度 20 ~ 30 °C

湿度 30 ~ 85% 以下 (結露のないこと)

気圧 700 ~ 1060 hPa

保存・輸送条件

温度 - 20 ~ 55 °C

湿度 0 ~ 90%

気圧 700 ~ 1060 hPa

付属品

AC 電源コード (1)

AC プラグホルダー (2)

取扱説明書 (1)

CD-ROM (1)

CD-ROM マニュアルの使いかた (1)

早わかりカード (1)

はじめてお使いになるときは (1)

問い合わせ先のご案内 (1)

保証冊子 (1)

別売アクセサリー

ラックマウントブラケット MB-526

SDI 入力アダプター BKM-320D

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

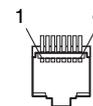
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクタ

(8ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 LINE A を指定
2	入力信号 LINE B を指定
3	入力信号 RGB/COMPONENT を指定
4	16 : 9
5	GND
6	4 : 3
7	アンダーの選択
8	ノーマルの選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます (21 ページ)。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使いたい機能をアース (5ピン) に接続します。

信号方式

本機は下記信号方式に対応しています。

入 力						
システム	総走査線数	有効走査線数	フレームレート	走査方式	アスペクト比	信号規格
575/50I(PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3	EBU N10 (PAL: ITU-R BT.624)
480/60I(NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3	SMPTE 253M (NTSC: SMPTE 170M)

出 力			
システム	有効表示画素	フレームレート	走査方式
575/50I(PAL)	640 × 480	50	プログレッシブ
480/60I(NTSC)	640 × 480	60	プログレッシブ

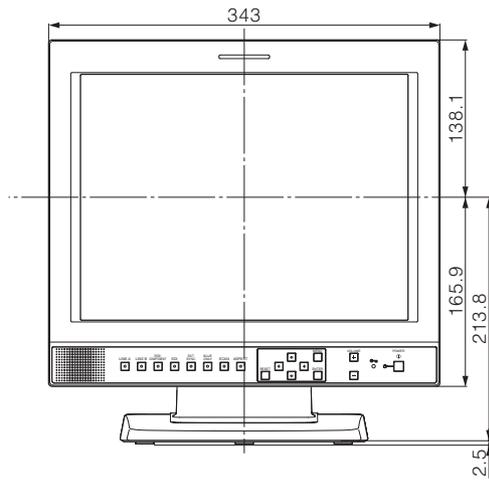
別売の入力アダプターを装着したとき下記信号方式に対応します。

BKM-320D 装着時

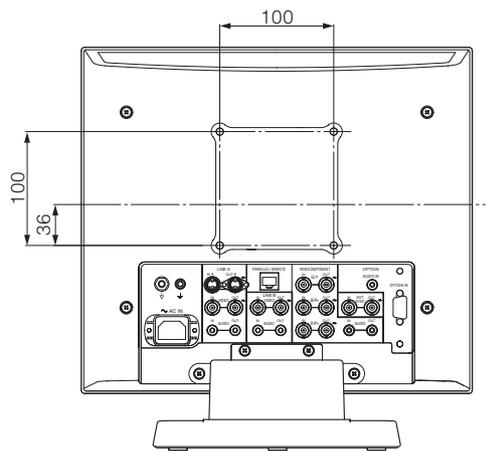
入 力	
システム	信号規格
575/50I	ITU-R BT.656
480/60I	SMPTE 259M

寸法図

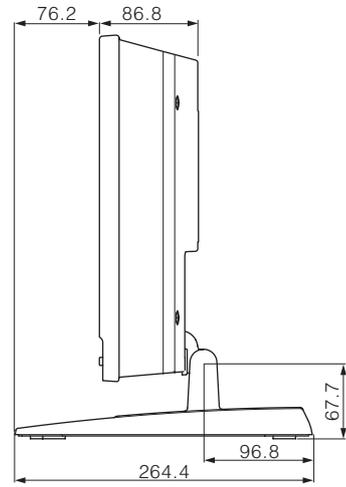
前面



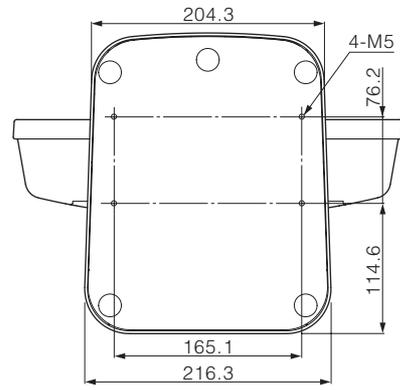
後面



側面



底面



単位：mm

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.net/>